

# 岡山倉敷都市圏におけるMM施策「GOOD ROUTE」の取組紹介

日本工営(株) ○ 武藤 彩華

## 1. はじめに

岡山都市圏を中心とした通勤・通学の状況を見ると、岡山市と倉敷市の結びつきが強い傾向にあり、通勤・通学手段としてはクルマ(自家用車)への依存度が高い。実際に、岡山市と倉敷市を結ぶ国道2号では朝夕の時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生しており、課題となっている。

渋滞緩和に向け、国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所では、「スマート通勤おかやま」や時差通勤、通勤手段変更等の呼びかけ、倉敷美観地区等の観光地における経路変更、分散利用の呼びかけ等の各種のMM施策を実施しており、それらを統一して周知していくためのブランディング戦略として、MM施策の総称「GOOD ROUTE(グッドルート)」を令和元年度に作成し、令和2年度以降にホームページの公開や企業へのインタビュー動画の公開等のプロモーション活動等を実施してきた。

本発表では、「GOOD ROUTE」を活用した取組として、令和4年度の取組内容と今後の展望を紹介する。

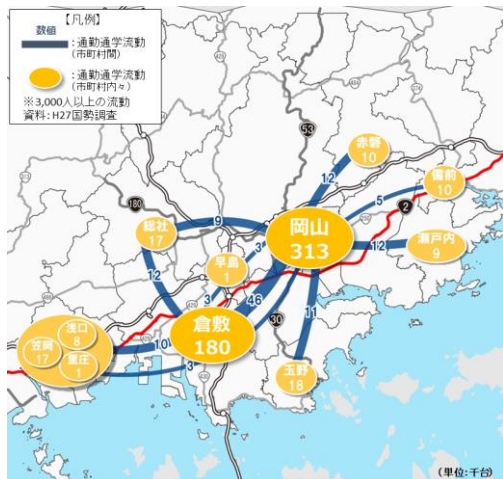


図-1 市町村別の通勤・通学流動(平成27年国勢調査)

市町村	鉄道・電車	自家用車	オートバイ/自転車	乗合バス	勤め先・学校のバス/ハイヤー・タクシー	その他
岡山市北区	15.2	3.2	65.2	1	13.8	1.5
岡山市中区	11.5	7.6	58.8	1.4	19.4	1.3
岡山市東区	14.9	3.3	70.5	0.8	9.3	1.0
岡山市南区	9.5	5.6	66.5	0.8	16.2	1.4
倉敷市	23.1	2.1	60.3	0.7	11.5	1.4
早島町	13.0	1.1	71.6	0.5	12.0	1.2

図-2 岡山県内の他市区町村への通勤・通学利用交通手段割合(令和2年国勢調査)

## 2. 令和4年度の「GOOD ROUTE」の取組

渋滞を避けて朝早く移動していただくことを目的として、朝活に着目した取組「朝活スタイル」の推進を実施した。具体的には、岡山倉敷都市圏において、一人ひとりにあった朝活を実施できるよう、朝早くから開いている公園、ジム、珈琲屋等の情報を一覧にしてまとめ、「GOOD ROUTE」のホームページで公開し情報発信を行った。掲載協力いただいた店舗にて、ポスターを掲示した。

また、岡山倉敷都市圏内にある企業の従業員向けのアンケート調査を行い、国道2号の中長期的な渋滞対策の検討を行った。

プロモーション活動では、朝活スタイルに伴う「GOOD ROUTE」ホームページ更新の他に横断幕の掲出、ラジオ放送、企業インタビューの動画作成等を実施した。

### ■朝活スタイルの店舗掲載ページ



### ■朝活スタイルポスター掲載の様子



図-3 朝活スタイルの推進

■横断幕の掲出



■岡山駅のデジタルサイネージを活用した動画の放映

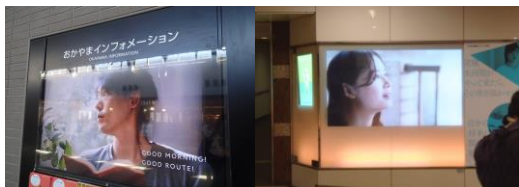


図-4 GOOD ROUTEのプロモーション活動

3. 令和4年度の「GOOD ROUTE」の効果

岡山都市圏の国道利用者に対して実施したWEBアンケート調査の結果では、「GOOD ROUTE」の認知度は約18%であり、前年の約14%から4ポイント向上した。

■GOOD ROUTEの認知度(令和4年度)

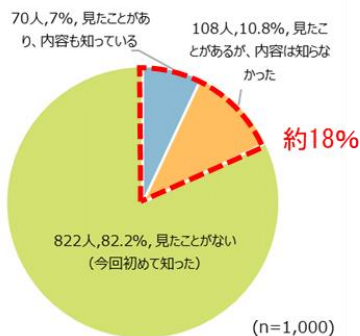


図-5 「GOOD ROUTE」の認知度

朝活の実施状況については、約16%が実施しており、そのうち約5%の方は「GOOD ROUTE」をきっかけに実施していることを把握した。実施されている方のうち「満足」や「やや満足」と評価している方は約94%と高く、その理由として「渋滞に巻き込まれることが減ったから」が最も多く、「朝活スタイル」の考え方が共感を得る可能性が示唆された。

岡山倉敷都市圏内にある企業の従業員向けのアンケート調査からは、中長期的な渋滞対策として、「時差出勤」、「在宅勤務」以外に、「高速道路の利用」に関する協力意向が高いことを把握できた。

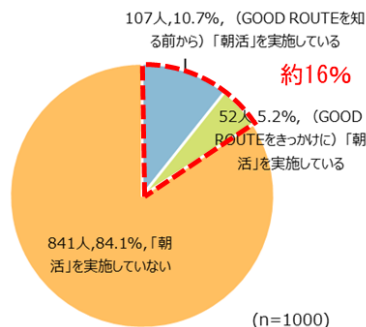


図-6 朝活の実施状況

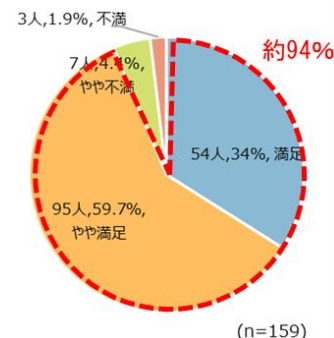


図-7 朝活の満足度

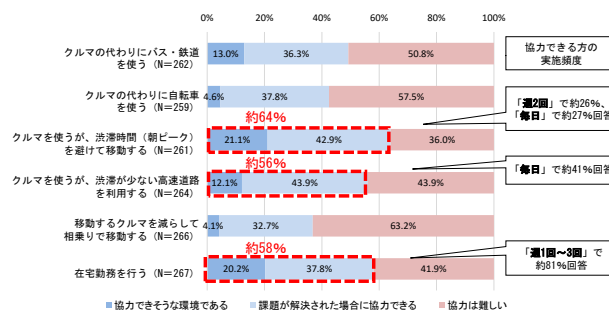


図-8 渋滞緩和策に向けて協力できそうな取組

4. 今後の展望

令和4年度の結果を踏まえ、令和5年度では更なる朝活スタイルの推進に向けて、実施するきっかけを創出する「朝活クーポン」の配布や夕方活動を行う「夕活スタイル」の検討等により、朝の通勤時間・経路の変更を実施しやすくなるためコンテンツ作りや情報提供を行う。

また、中長期的な渋滞対策として、岡山倉敷都市圏の民間事業者に対し、「時差出勤」、「在宅勤務」、「高速道路の利用」に向けた協力依頼を実施していく。その他、「GOOD ROUTE」の認知度向上に向け、横断幕、ラジオ放送等を引き続き実施するとともに、更なる認知度向上を目指した取組を検討・実施していく。